

令和 5 年度中野市長定例記者会見（2 月） 顛末

- 期 日 令和 6 年 2 月 20 日（月）
- 時 間 午後 1 時 30 分～2 時 20 分
- 会 場 市役所 5 階 52・53 号会議室
- 出席者 5 社（北信ローカル、テレビ北信、信濃毎日新聞、新建新聞、読売新聞）

<質疑応答>

○発表の内容について

【読売新聞】

総務費の 31 億円が令和 5 年度当初比から 47%減となっていますが、この要因について教えてください。

【企画財政課長】

市民会館の建設が終わったというのが理由です。

【信濃毎日新聞】

「安心子育て縁を紡ぐ」というテーマを設定した思いは。

【市長】

少子高齢化が進んでおり、中野市の合計特殊出生率は 1.25 と国、県の数値を下回っている状況です。

子どもたちが少ない状況には非常に危機感を感じています。まず妊娠、出産から高校まで満遍なく予算を手当てすることで、中野市に住んで良かった、住んで子どもを育てたいと思ってもらえる環境にしていきたい。

そして、「縁を紡ぐ」という点です。これは近年、コロナ禍でさまざまな事業や人的交流が停滞していました。しかし、この中野市には、中山晋平、高野辰之、久石譲さんや漫画家の宮島礼吏先生などがいらっしゃいます。こういった方々と過去現在そして未来につながるように政策を打つことで、交流人口や関係人口を増やし、定住人口の増加につなげていきたいという狙いがあります。

今まで HUBLIC やタカギセイコーふるさとパークなどそれぞれ事業の拠点を作りました。また、今後オープンするソソラホールもまちなかの拠点施設になると

考えています。

これらの施策を活用し、点と点を線に、線と線を面にしながら中野市に住んで良かった、来てよかったと思ってもらえるようにしていきたい。

また、将来の中野市を担う子どもたちの未来を「紡いでいく」という思いで今回のテーマを設定した。

【北信ローカル】

音楽のイメージが強い中野市ですが、今後漫画家の宮島先生とのタイアップ事業を考えられているとのことで、具体的にどんなことをするのか教えてください。

【市長】

宮島先生の作品を活用させていただくような施策を考えておりますが、詳細は後ほど企画財政課長よりお答えさせていただきます。

【信濃毎日新聞】

保育園の民営化の事業者が決定し、先日も市内の保護者さんと意見交換をされていましたが、民営化の経営のしていく中で保育全般を含めての意見交換についての考えをお聞きたい。

【子ども部長】

本日事業者が決定されたことを公表させていただいております。併せて、民営化の対象と平野保育園と高丘保育園の保護者と職員に周知しています。その後、基本協定や三者協議を経て、保護者説明会に入っていきます。

意見交換の機会につきましては、ご要望があればそれらにお応えし、その都度行っていきたいと考えています。

【市長】

なるべく不安を払拭できるような方向で進めていきたいと考えています。

【信濃毎日新聞】

今回の予算では任期最後の一年というところで、新規の事業が非常に目立っていますが、これらを実際に実行していくという上で、次の市長選についてどうお考えか。

【市長】

施策は切れ目なく続いていくもので、市民の皆様のためにとにかくできることを日々行っていくつもりです。